

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車會館）
（鉄電）二九三五・六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

4.28 結成5周年集会へ

「勤労千葉の正義と勝利の道をさし示そう」

一九七九年三月三〇日、われわれは、ここ千葉の地において、激動の日本労働運動の戦闘的再生をめざし、さしあたり動労の大改革運動に本格的に着手するため、新たな飛躍をかけて国鉄千葉動力車労働組合を一四〇〇名組合員の総意をもつて結成した。

この組合結成は、労働運動の大義を守り、動労の変質を正し、戦闘的伝統を継承発展させんとするわれわれの闘いの一道程であり、われわれは革マル分子による動労私物化―ファッショ的組合支配を打倒し尽くすまで闘いぬく決意をあらためて宣言する。(「動労千葉結成宣言」より)

正義は決起した。

决起



① 動労千葉結成大会
(1979年3月30日、千葉教育会館)

干 葉 日 報 (日刊) 昭和54年4月18日 (木曜日)

②「本部」革マルの
たび重なる破壊
攻撃をはねの
けて前進
←(79.4.17 津田沼)
(79.4.21 新川)

勤労本部 対応加熱



不正義をうち
破り、血と汗に
まみれて、わ
れわれは
前進した。

動労千葉支部鉄牛動力車協会の
 会長（國事委員長）一千五百
 人の津田昭昭氏が十七日、
 労本側へのオムロン約員から
 署名などを待つで話し合は
 された。動労千葉支部八人に
 内務省職員が乗った。労働
 組合員が乗った。労働組合
 員が乗った。労働組合員が
 乗った。労働組合員が乗
 った。労働組合員が乗った。

4.17 襲撃を
報じる新聞
4/18 千葉日報

新聞 18 日 電車を止める
オルグ乱入、8人が重軽傷

つては、山野君がたは、此の如く見
て、切實な點にあるまじき行爲で
ないか、と問ふ。忍朝も口裏より「秘
りをあつめに、同日、同銀行に
鐵道所員の運転部を以て」こ
れをばあくまでも内閣問題とし
て、だが、運転士の安全を以て
同銀行を管理すべき責任がある

勝利

労働運動の原則を守り、労働連帯の正義を貫ぬいて、われわれは勝利した。

第一部 記念集会

- ・主催者あいさつ
- ・執行委員長 中野 洋
- ・基調報告
- ・書記 長 布施 宇一
- ・各界連帯のあいさつ

第二部 レセプション

・アトラクション・その他

勤労千葉一結成五周年記念集会・
 レセプション」
 日 時 一九八四年 四月二八日(土)
 場 所 十二時三十分
 プログラム 県労働者福祉センター・大ホール



③ 正義と原則を貫き通し、遂に勤務外全員633名の三里塚現地動員の快挙を達成（1984年3月25日）

4・28記念集会を圧倒的にかちとり、
新たな飛躍を

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！